

最新の医学・医療カンファランス

開催日時：令和8年 1月8日(木) 14時～16時

開催場所：和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス
図書館棟3階 研修室

「臨床検査技師が教える分かりやすい腹部超音波検査」

腹部超音波検査は、超音波を用いて腹部内の臓器の状態を非侵襲的に調べる検査です。腹部内の状態をリアルタイムで観察することで、病気の診断や治療計画に役立ちます。また肝硬度測定(肝エラストグラフィ)を活用して、肝線維化の進行度を調べ、慢性肝疾患の診断や治療方針に重要な情報を提供しています。これらのことを実際の超音波画像をお見せしながらお話いたします。

たぶち けいすけ

本学 中央検査部 田淵 圭佑 副主査

「安心して長くつきあうためのリウマチ・膠原病治療」

日本では、長い間リウマチ・膠原病に対する特効薬がなかったことから、ステロイドに依存する医療が根付いてしまっています。確かにステロイドは膠原病の急性期、特に致死的な病態の際は有用なお薬ですが、ステロイドは骨粗鬆症、筋肉の萎縮、動脈硬化の進展による心血管疾患、糖尿病、緑内障、そして何より感染症にかかりやすくなるなど、とても副作用の多い薬剤であり、特に慢性期に漫然と使用することは避ける必要があるお薬です。少ない量であっても、ステロイドの長期間の使用は、現在世界的にも“毒性がある”と言われていて、ステロイドをやむなく使用する場合は、“少しでも短く、少しでも少なく、そしてできるだけ中止することが望ましい”とされています。ステロイドを使わないために、あるいはすでに使用してしまっている場合、速やかに減量・中止するためには、近年使用できるようになった新しい抗リウマチ薬、免疫抑制薬、生物学的製剤などを適切かつ速やかに使用する必要があります。本講演会では、特にステロイドという薬剤を使用する場合の注意点、ステロイドをできるだけ使用しなくて済むように市販されたリウマチ・膠原病の新しいお薬の情報を解説したいと思います。

いわた しげる

本学 医学部 リウマチ・膠原病内科学講座 岩田 慈 准教授

申込み方法 令和7年12月11日(木)までに以下のいずれかの方法でお申し込みください。先着30名。

■ 電話 073-441-0789 ■ FAX 073-441-0713

■ メール ① 以下のURLのページ下部にある申し込み用紙のデータをダウンロードして必要事項を入力してください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/shisetsu/life/index.html>

② 必要事項を入力した申し込み用紙のデータを添付して、以下のメールアドレス宛てに送付してください。

life@wakayama-med.ac.jp

本講座は、一般の方に最新の医学・医療情報等を提供し、教養を深め、健康や治療に役立てていただくことを大きな目的として開催しています。医学・医療に関する専門的知識は必要ないの、興味のある方は、ご覧ください！

